

なしの開花期における栽培管理について

令和3（2021）年3月19日
下都賀農業振興事務所

1 今後の気象状況と留意点

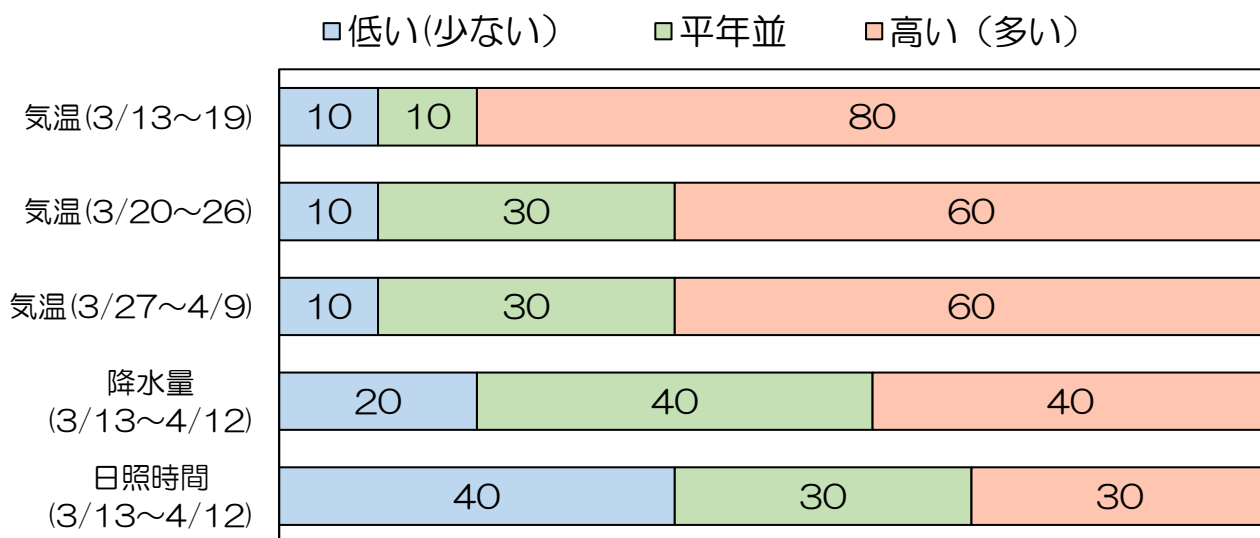


図1 関東甲信地方における向こう1ヶ月の天候見通し（3月11日気象庁発表）

表1 宇都宮地点の桜開花始予想（日本気象株式会社 3月11日発表）

	R3年(予想)	R2年	平年
桜開花日(宇都宮)	3/21	3/21	4/1

向こう1ヶ月の気温は、平年より高く推移する見込み
また、曇雨天がやや多くなる傾向（図1）



- 開花が予想より早まる可能性があります。せん定・誘引を急ぐとともに、人工受粉の準備、防除タイミングが遅れないよう作業をお願いします。
- 開花が早まると凍霜害を受けやすくなるため、凍霜害対策の準備も早めに済ませておきましょう。
- 曇雨天は病害発生の好適条件となるため、雨前防除を徹底しましょう。

2 人工受粉の準備

①開葯機等の点検

②花粉の発芽率調査

- ・発芽率が低い花粉は着果不良や変形果の原因となるため調査を行う。
⇒発芽率が低い場合は増量剤の割合を少なくする。
※貯蔵花粉は発芽率が低下するので要注意。

3 凍霜害対策

① 防霜ファン（0.2～0.4℃の昇温効果）

- ・事前に稼働点検を実施する。

② 地温の確保

- ・草生栽培園：低めに刈り取りを行う。
- ・敷きワラ栽培園：晩霜の心配がなくなってから行う。

③ 多目的防災網の展帳（0～0.4℃の昇温効果）

- ・人工受粉が前提。
- ・サイドの網は冷気の滞留防止のため、棚面まで巻き上げておく。

④ 燃焼法（1～2℃の昇温効果）

- ・事前に資材を確保しておく（2～3回分）。
- ・夕方までに資材をほ場全体に設置する。
- ・限界温度より1℃高い時に点火する。

【参考】凍霜害危険限界温度（H23年農業試験場試験成績書）

発芽期	花蕾露出期	花弁露出始期 (硬い蕾)	花弁白色期 (風船状の蕾)	開花直前	満開期	幼果期 (落花後)
-3.9℃	-2.7℃	-2.7℃	-1.9℃	-1.9℃	-1.5℃	-1.4℃

上記の温度で30分以上おかれた場合に危険です

4 病害虫防除

①黒星病

- ・開花前後は最重要防除時期となるため、芽基部病斑の摘み取りを徹底するとともに、確実に薬剤散布を行う。
- ・曇雨天が多い場合は発生が助長されるため、雨前散布を徹底する。

②シンクイムシ類、ハマキムシ類

- ・開花期は越冬したシンクイムシ類・ハマキムシ類が活動を開始する時期。
- ・開花の早まりと併せて発生が早まることが予想されるため、薬剤散布を行う。
※核果類がほ場周辺にある場合は注意。

③アブラムシ類

- ・開花期前後から発生が確認され始めるため、発生初期に薬剤散布を行う。
- ・下草が発生源となるため、雑草の適正管理に努める。

【参考】黒星病の薬剤抵抗性試験について（農業環境指導センター3月9日発表）

○試験概要

- ① 令和2年5月～6月に県内44ほ場から病斑のある葉・幼果を採取。
- ② 採取したサンプルから菌を培養し、114の菌株を得た。
- ③ 得られた菌株に7種類の薬剤を投与し、生存率を調査。

○試験結果

- ・アンビルフロアブル、サンリット水和剤、フルーツセイバーを投与した場合、全ての菌株が死滅した。
- ・ファンタジスタ顆粒水和剤、ストロビードライフフロアブル、ナリアWDG（注）を投与した場合、生存する菌株が1割～3割程度確認された。
- ・スコア顆粒水和剤を投与した場合、他の剤に比べ多くの菌株が生存した。
- ・管内においても県内全域と同様の傾向が見られた。

表1 生存率の各段階における菌株数（県内全域）

農薬名	グループ名	生存率と菌株数					菌株数合計
		0%	1～20%	21～40%	41～60%	61%～	
アンビルフロアブル	DMI剤	114	0	0	0	0	114
サンリット水和剤		114	0	0	0	0	114
スコア顆粒水和剤		5	83	24	2	0	114
ファンタジスタ顆粒水和剤	Qol剤	90	22	2	0	0	114
ストロビードライフフロアブル		97	16	1	0	0	114
ナリアWDG（注）	SDHI剤	80	34	0	0	0	114
フルーツセイバー		114	0	0	0	0	114

表2 生存率の各段階における菌株数（下都賀管内）

農薬名	グループ名	生存率と菌株数					菌株数合計
		0%	1～20%	21～40%	41～60%	61%～	
アンビルフロアブル	DMI剤	24	0	0	0	0	24
サンリット水和剤		24	0	0	0	0	24
スコア顆粒水和剤		1	20	3	0	0	24
ファンタジスタ顆粒水和剤	Qol剤	18	6	0	0	0	24
ストロビードライフフロアブル		20	4	0	0	0	24
ナリアWDG（注）	SDHI剤	16	8	0	0	0	24
フルーツセイバー		24	0	0	0	0	24

（注）ナリアWDGに含まれるQol剤とSDHI剤成分のうち、SDHI剤成分のみを使用。

DMI剤・Qol剤・SDHI剤は抵抗性のつきやすい薬剤です。ローテーション散布を心がけ、耐性菌の発生を防ぎましょう。

（注）本試験結果が全てのほ場で当てはまる訳ではありません。これまでの薬剤散布の状況により異なりますので、本内容は参考としてご活用ください。